

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 6 月 29 日 (2006.6.29)

【公表番号】特表 2004-521662(P2004-521662A)

【公表日】平成 16 年 7 月 22 日 (2004.7.22)

【年通号数】公開・登録公報 2004-028

【出願番号】特願 2001-583841(P2001-583841)

【国際特許分類】

A 6 1 B 1/00 (2006.01)

H 0 4 N 7/18 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 1/00 3 2 0 B

H 0 4 N 7/18 M

H 0 4 N 7/18 U

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 5 月 12 日 (2006.5.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 カプセルインビボカメラシステムの出力を表示するシステムであって、該システムが、
カプセルインビボ撮像装置から、イメージデータのフレームを受信する受信機と、
少なくとも 2 つのフレームからイメージデータの類似性の程度を判定し、表示ユニット
にイメージデータの類似性の程度に対応するレートでフレームを表示させるイメージプロ
セッサと、
を備える、システム。

【請求項 2】 前記少なくとも 2 つのフレームが、連続するフレームである、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】 前記少なくとも 2 つのフレームが、不連続のフレームである、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 4】 プロセッサが、フレームを反復して表示する、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 5】 プロセッサが、フレームの表示をなくする、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 6】 カプセルインビボカメラシステムの出力を表示する方法であって、該方法が、
カプセルインビボ撮像装置から、イメージデータのフレームを受信することと、
少なくとも 2 つのフレームからイメージデータの類似性の程度を判定し、イメージデー
タの類似性の程度に対応するレートでフレームを表示することと、
を含む、方法。

【請求項 7】 前記少なくとも 2 つのフレームが、連続するフレームである、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】 前記少なくとも 2 つのフレームが、不連続のフレームである、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 9】 フレームを反復して表示することを含む、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 10】 フレームの表示をなくすることを含む、請求項 6 に記載の方法。